

## たこ風揚げれ ご挨拶

伊勢原の虻風・バリ島の子どもたちが作る風に夢をのせて  
「伊勢原とバリ島の国際交流10 農業交流8」

農業交流は今年度8回目を迎えました。

交流をはじめて直ぐ、バリ島の農業では子どもを養えない現状を目の当たりにしたからです。そこで農業交流をして互いに学び合う機会としました。

交流を続けていると、いろいろな課題にぶつかります。それでも皆様の応援で乗り切ってきました。一つ乗り越える度、予想もしなかった美しい風景に出会い、勇気を頂きました。

団体名を「たこ風揚げれ」と名付けたのは、伊勢原の虻風、バリ島の子どもたちが作る風にのせて、世界の子どもたちが少しでも『安寧に暮らせるように』『夢が描けますように』の願いを天に届けるためです。



NPO法人たこ風揚げれ  
理事長 川上道子



2018年6月第9号

発行者川上道子

たこ風  
ニ  
ユ  
ー  
ス  
NPO法人たこ風揚げれ発行

### インドネシア国立ウダヤナ大学 農学部教授アリット先生からのメッセージ



インドネシア国立ウダヤナ大学農学部の若者と、NPO法人たこ風揚げれとの農業交流プログラムが行われ始めてから、現在までに既に7年が経ちました。

このプログラムの目的は、農業を守っていく為にバリの若者の意識を高めることにあります。

先進工業国でありながら、農業を守り続け進歩させ続ける日本から、私達は学ばなければなりません。

バリではその社会の大部分が農業に従事していますが、近年若い世代は農業の世界に取り組むことを嫌がり

ます。なぜなら農業の仕事は重労働で汚れる仕事だからです。この様な状態から私達はこの交流プログラムを作りました。バリの若者達の農業への意欲をもっと高める為に。

このプログラムは農学部と、とりわけその学生にとっても素晴らしい影響を与えました。

最近では既に若い世代が農業への高い意欲を持ち始めました。

この交流プログラムに参加した学生達は、伊勢原の農家さんを訪ねた際の経験をバリでの活動に生かしています。

参加した学生のうちの何人かは修士課程へと進学し、更には(奨学金を得て)日本の大学院へ進む予定の学生もいます。

そのほかの学生は卒業後、以下の様な農業の活発な活動を行なっています。

ある者は園芸の植木の苗を作り、ある者は香辛料の企業に就職をしてそのプランテーションで働き、また何人かは農業をする為に自分の村へ戻りました。

このプログラムとともに、バリの農業が守られ続け存続していくことを心から願っています。

バリの農業はバリの社会にとって、とても重要なものです。

バリは食料の需要を満たす為に輸入品だけに頼ってはいけません。バリは農業を守り続けなければならないのです。

農業はバリ社会の文化の源であり、多くの舞踊や芸術もバリの農業活動の数々から生み出されました。

またバリは観光地として観光客に食べ物を提供する為に、農業をとっても頼りにしています。

最近では「農業観光」も花開き始めていて、多くの観光客が美しい水田の広がりを見る為にバリを訪れたり、更には一般のバリ社会の伝統的な農業活動に参加する人もいます。農業は観光の一つにもなっています。

そのようにバリは観光地として知られてはいますが、バリの農業は存在し続け進歩し続けなければなりません。なぜなら農業はバリ島の生活にとって、とても大切なものだからです。

有難うございました。

訳 NPO法人たこ風揚げれスタッフ

### 来日したウダヤナ大学農学部学生のご紹介

**I MADE ARIMBAWA**

**マテさん 21歳**

真面目で心配りも細やか。  
大学の農業サークルでは  
リーダーも務めています。



**SHAH KANIGARA ASADDIARI**

**カニさん 20歳**

明るく社交的。  
聞いた日本語はすぐに  
覚えてしまいました。



# 国際交流10・農業交流8の研修記録



羽田空港到着  
Selamat datang di Jepang(ようこそ日本へ)



高山市長に表敬訪問

2月27日



JA伊勢原にて旗川組合長



伊勢原大神宮参拝



龍屋物産さんへ訪問



産業能率大学にてウエルカムパーティー開催 (産能大 准教授 荒木淳子ゼミ協力)  
マテさんとカニさんの研究発表 (通訳 九谷佐恵子さん) 学生・来賓者と集合写真



有機たい肥学習



県立農業技術  
センター平塚



(通訳 志村敦子さん)

JA全農営農技  
術センター



2月28日



伊勢原ライオンズクラブ定例会(こみや料亭)にて研究発表



高井良雄会長より激励をいただく!



3月1日



石川農園 シイタケ栽培の研修



栗丸農園 イチゴ栽培の研修

(通訳 藤垣順三先生 東京農大名譽教授)

松田町西平畑公園

- 人生初の電車に乗車！  
(バリ島には電車がありません)
- 河津桜に感激



3月2日



東京農業大学  
厚木キャンパス  
一日研修

左から松丸禎二事務長・小川博学部長・学生2人・森田茂紀教授



3月3日



辻農園にてトマト栽培研修



深瀬農園 みかん栽培・シイタケ栽培研修

(通訳 藤垣順三先生 東京農大名譽教授)

3月4日



比々多神社参拝

(通訳 武田松之さん)



大山阿夫利神社参拝



雨岳文庫見学



きらく食堂にてフェアウエルパーティー たこ川スタッフと

3月10日



羽田空港より帰国しました Selamat Jalan (さようなら)

帰国に際し、二人は今回の研修プログラムと日本で出会った多くの方々への心からの感謝の気持ちを語ってくれました。また、バリに戻ったら仲間達にもこの経験を詳しく伝えるつもりだとも仰っていました。農業を愛し、誇りを持った二人が日本で学んだことを生かしてこれからのバリの農業を牽引し、農家の方々の生活を豊かなものへと導いていってほしいと思います。

1月2日



### バリ島の柿の木

バリ島との友好の証として、伊勢原から贈った柿の木です。今年で約7年です。徐々にですが成長しています。(2018年1月2日撮影フラタン湖研修施設にて)



「伊勢原国際交流11 農業交流9」は2019年3月に開催予定しております!!  
皆様のあたたかいご協力ご協賛を宜しくお願い致します。

後援：伊勢原市・伊勢原市国際交流委員会